



* 2012 年 4 月 20 日、米国にて発表されたプレスリリースの全訳です。
同発表に関するカンファレンス・コール/ウェブキャスト再生、プレゼンテーション資料、および
関連資料等は、GE ウェブサイト内「インベスター・リレーション」
(http://www.ge.com/investors/events/event_id04202012.html * 英語のみ) をご覧下さい。

GE、2012 年度第 1 四半期の業績を発表

2012 年第 1 四半期の 1 株当たり営業利益(Operating EPS)は 3%増の 0.34 ドル(前年同期の一過性要因を除くと 17%増)

産業分野事業の売上高は 14%増の 237 億ドル、同事業の売上内部成長率は 11%

インフラストラクチャー事業の受注高は 20%増、産業分野事業の利益は 10%増

産業分野事業からの営業活動によるキャッシュフロー(CFOA)は 22%増の 21 億ドル

2012 年度第 1 四半期の決算ハイライト

- 8 四半期連続で営業利益が大幅に増加
 - ✓ 第 1 四半期の 1 株当たり営業利益(Operating EPS)は 3%増の 0.34 ドル(一過性要因を除くと 17%増)
 - ✓ 当四半期の継続事業からの 1 株当たり利益(EPS)は前年同期並みの 0.31 ドル
 - ✓ 当四半期の売上高は 352 億ドル、産業分野事業の売上高は 14%増の 237 億ドル
- 業績の先行指標は引き続き堅調
 - ✓ インフラストラクチャー事業の第 1 四半期受注高は 20%増加し、過去最高の 231 億ドル、設備・機器の受注高は 29%増、サービス受注高は 11%増
 - ✓ 産業分野事業の受注高内部成長率は 14%
 - ✓ 産業分野事業の成長市場向け受注高は 21%増
- GE キャピタルの利益は 18 億ドル(前年同期並み)、前年同期の Garanti 売却の影響を除くと 27%増
 - ✓ リアル・エステート部門は黒字転換
 - ✓ GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の Tier 1 普通資本比率は 10.4%
- 2012 年度の産業分野事業および GE キャピタルの 2 桁増益達成に向け、順調に推移

2012 年 4 月 20 日【米国コネチカット州フェアフィールド】

GE は本日、2012 年第 1 四半期の業績を発表しました。当四半期の営業利益は前年同期比 1%増の 36 億ドル、1 株当たり営業利益は 3%増の 0.34 ドル(一過性要因を除くと 17%増)となりました。一般会計基準(GAAP)ベースの(GE に帰属する)継続事業からの利益は 4%減の 33 億ドル、1 株当たり換算すると前年同期並みの 0.31 ドルとなりました。当四半期の売上は、前年同期に発生した NBC ユニバーサルおよび Garanti 売却により、この 2 社からの売上が含まれなくなったこと、また GE キャピタルの期末純投資額の減少を受け、8%減の 352 億ドルとなりました。産業分野事業の売上は 14%増加しました。インフラストラクチャー事業の第 1 四半期受注高は 20%増加し過去最高の 231 億ドルとなり、GE の事業ポートフォリオの強みが実証されました。当社は事業計画を着実に実行しており、産業分野事業および GE キャピタルともに 2012 年度の 2 桁増益達成に向け順調に推移しています。

GE のジェフ・イメルト会長兼 CEO は次のように述べています。「投資家の皆様には 2 つの重要なカタリスト(増益要因)、すなわち産業分野事業の 2 桁増益および GE キャピタルから GE

への復配について申し上げてきました。本日発表した業績により、産業分野事業で増益を達成し、GEキャピタルが堅調な成長を続けていることが証明されました。当四半期の受注は、インフラストラクチャー事業全体、設備・機器およびサービスともに、おしなべて堅調でした。世界的な（経済）成長が牽引力となり、当社業績の先行指標は底堅く推移しています。テクノロジーおよび世界各地での成長基盤となる分野への戦略投資が着々と成果を上げており、第1四半期の産業分野事業における売上内部成長率は11%、同事業の利益成長率は10%となりました」。

GEキャピタルの第1四半期利益は前年並みの18億ドルでしたが、前年同期に売却したGarantiの影響を除くと27%増となりました。当社は、GEキャピタルの堅調な業績が今年度をとおして続くものと考えます。融資ポートフォリオ全体の利益率が上昇し、新規案件も引き続き高採算でした。リアル・エスレート部門は2008年第3四半期以来の黒字転換となりました。GEキャピタル・コーポレーション(GECC)のTier1普通資本比率は過去最高の10.4%となり、その潤沢な流動性および収益力が強さの源泉であることに変わりません。

第1四半期におけるインフラストラクチャー事業の受注は前年同期比20%増加し、過去最高の231億ドルとなりました。当四半期の受注高内部成長率は14%で、8四半期連続のプラス成長となりました。産業分野事業の成長市場向け受注高は21%増となりました。インフラストラクチャー事業すべてにおいて設備・機器の四半期受注高が2桁成長しました。当四半期の主な受注実績として、南アフリカの鉄道輸送公社Transnetから新型C30ACi機関車43台を受注し、2009年12月以降のGE製機関車の受注累計が143台となったほか、GEオイル&ガスが豪イクシスの液化天然ガス(LNG)プロジェクトにおける10億ドル規模の各種設備・機器およびサービス契約を受注しました。このほか、ケニア航空より3億8,000万ドル相当のGEnx-1Bエンジン採用のコミットメント（確約）を得ました。さらにGEは昨日、カンタス航空グループよりA320型機78機にLEAP(CFM)エンジンを搭載するという20億ドル規模の重大な戦略的コミットメント（確約）を得たことを発表しました。これによりGEと仏スネクマ社の合併会社が、過去1年で受注したLEAPエンジン総数（確約分含む）は3,500台以上となります。

NBCユニバーサルの影響を除く第1四半期の総売上高は前年同期比4%増の352億ドルでした。当四半期におけるGE産業分野事業の売上は14%増の237億ドル、売上内部成長率は11%でした。また、オーストラリア、カナダ、中国、ロシア、南米、サハラ砂漠以南のアフリカにおいて売上が2桁成長した結果、同事業の成長市場向け売上高が14%増加しました。米国での売上も17%増と堅調でした。

第1四半期における産業分野事業の利益は10%増の33億ドルとなり、ヘルスケアおよびトランスポートの部門で営業利益率が改善しました。当四半期、産業分野事業全体の利益率は低下しましたが、進行中の生産性向上プロジェクトによって通年では50ベースポイントの改善を見込んでいます。また、産業分野事業全体の新規受注価格が50ベースポイント上昇しており、同事業5部門のうち4部門で受注価格が改善しています。産業分野事業の営業活動によるキャッシュフローは22%増の21億ドルとなりました。現金および現金同等物の連結期末残高は840億ドルでした。

「新年度のスタートにあたり、堅調な業績を達成しました。また、業績の先行指標からも2012年度の当社フレームワーク（事業見通し）が順調に推移すると考えられます。産業分野事業が増益となり、当社の2桁成長への準備が整いました。産業分野事業の資金計画も健全性を保っています。連邦準備理事会(FRB)の承認がとれ次第、GEキャピタルからの余剰キャッシュ

を 2012 年をとおして還元していきます。また、バランス良く、投資家の皆様に満足して頂ける資本配分を行います。当社は、世界各地の様々な変化に対応することで 2012 年以降も投資家の皆様のために結果を出せる体制にあります」とイメルトは述べています。

2012年第1四半期の決算ハイライト

2012 年第 1 四半期の営業利益は、前年同期比 1%増の 36 億ドル、1 株当たり営業利益は前年同期の 0.33 ドルから 3%増の 0.34 ドルでした。一般会計基準(GAAP)ベースの（GE に帰属する）継続事業からの利益は前年同期比 4%減の 33 億ドル、1 株当りに換算すると前年同期並みの 0.31 ドルとなりました。

非継続事業の実績を含めると、2012 年第 1 四半期の GE に帰属する純利益は 30 億ドル（普通株 1 株当たり 0.29 ドル）となりました。前年同期の実績は 34 億ドル（普通株 1 株当たり 0.31 ドル）でした。非継続事業には、主として GE キャピタルのアイルランドにおけるモーゲージ事業からの撤退関連費用 2 億ドルが含まれます。同事業の売却後、追加費用の発生は見込んでいません。当四半期に利益を計上した項目（1 株当たり 0.01 ドル）が、事業再編その他の一過性費用（1 株当たり 0.01 ドル）により相殺されました。

2012 年第 1 四半期の売上高は、前年同期比 8%減の 352 億ドルでしたが、NBC ユニバーサルを除くと 4%増となりました。産業分野事業の売上高は同 7%増の 237 億ドルでした。GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の売上は前年同期比 12%減の 114 億ドルとなりました。

GE 産業分野事業の営業活動による 2012 年第 1 四半期キャッシュフロー総額は、前年同期の 17 億ドルから 22%増の 21 億ドルとなりました。

注：別紙の財務諸表には、当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報が含まれています。

＊ ＊ ＊

GE について

GE は、重要な課題の解決に取り組む企業です。最高の人材、最高のテクノロジーを活用し、エナジー、ヘルスケア、ホーム、トランスポート（運輸）、金融サービスなどの分野で、困難な課題の解決に貢献しています。世界中のインフラ構築、電力供給、運輸、医療など様々な分野で GE の製品・サービスが使われています。私達は、イマジネーションだけでなく、「実行」する企業です。課題解決を行動にうつす、それが GE の仕事です。日本における GE の事業・活動等については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧下さい。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」「予想する」「つもりである」「計画する」「信じる」「捜し求める」「見込む」「～であろう」といった言葉を含むことがよくあります。「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GE の実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む、欧米における欧州公的債務問題およびそれに係る将来的な市場混乱、現在の経済・金融状況、当社が計画する GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECC の資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行（デフォルト）になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、日本の消費者金融におけるグレーゾーン金利返還の当社見積もりに対する実際の請求状況、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する当社の能力に影響を及ぼし得る当社のキャッシュフローや利益など財務状況の適切性、連邦準備理事会の承認を前提とした GECC の復配計画、事前注文契約から受注獲得につなげる能力、当社の客先である主要産業（航空会社、鉄道、エネルギー生産、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業）からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響（金融関連法令の影響を含む）、買収・合併事業・売却など戦略的行為や、発表済みの案件完了や買収した事業の統合における当社の成功、情報技術またはデータセキュリティ侵害が発生した場合の影響、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来における GE の実際の業

續は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GE は「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

本件に関するお問い合わせ

日本 GE コーポレート・コミュニケーション本部

TEL: 03-3588-9500

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
損益計算書

1月～3月	連結			GE(a)			金融サービス (GECC)		
	2012	2011	V%	2012	2011	V%	2012	2011	V%
売上									
商品およびサービス売上	\$ 23,527	\$ 21,991	7%	\$ 23,687	\$ 22,102	7%	\$ 30	\$ 42	(29)%
その他の売上	557	3,625		600	3,665		-	-	
GECC の継続事業による売上	-	-		1,792	1,790		-	-	
GECC のサービス売上	11,098	12,713		-	-		11,412	12,994	
総収入	35,182	38,329	(8)%	26,079	27,557	(5)%	11,442	13,036	(12)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費および一般管理費	26,298	25,223		22,037	20,228		4,621	5,293	
支払い利息およびその他の財務費用	3,358	3,796		315	355		3,196	3,584	
投資契約・									
保険損失・保険および年金給付	737	736		-	-		771	769	
貸倒引当金	863	1,140		-	-		863	1,140	
売上原価および費用合計	31,256	30,895	1%	22,352	20,583	9%	9,451	10,786	(12)%
税引前の継続事業による利益	3,926	7,434	(47)%	3,727	6,974	(47)%	1,991	2,250	(12)%
法人税等引当額（引当金）	(637)	(3,942)		(450)	(3,513)		(187)	(429)	
継続事業による利益	3,289	3,492	(6)%	3,277	3,461	(5)%	1,804	1,821	(1)%
非継続事業による税引利益（損失）	(217)	35		(217)	35		(217)	35	
純利益	3,072	3,527	(13)%	3,060	3,496	(12)%	1,587	1,856	(14)%
非支配持分の純利益を差し引く	38	94		26	63		12	31	
当社に帰属する利益	3,034	3,433	(12)%	3,034	3,433	(12)%	1,575	1,825	(14)%
優先株主配当	-	(75)		-	(75)		-	-	
普通株主に帰属する純利益	\$ 3,034	\$ 3,358	(10)%	\$ 3,034	\$ 3,358	(10)%	\$ 1,575	\$ 1,825	(14)%
当社に帰属する利益：									
継続事業による利益	\$ 3,251	\$ 3,398	(4)%	\$ 3,251	\$ 3,398	(4)%	\$ 1,792	\$ 1,790	-%
非継続事業による税引利益（損失）	(217)	35		(217)	35		(217)	35	
当社に帰属する純利益	\$ 3,034	\$ 3,433	(12)%	\$ 3,034	\$ 3,433	(12)%	\$ 1,575	\$ 1,825	(14)%
継続事業による 1 株当たり利益									
希釈化後	\$ 0.31	\$ 0.31	-%						
希釈化前	\$ 0.31	\$ 0.31	-%						
1 株当たり純利益									
希釈化後	\$ 0.29	\$ 0.31	(6)%						
希釈化前	\$ 0.29	\$ 0.32	(9)%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,611	10,641	-%						
希釈化前	10,581	10,611	-%						
1 株当たり配当額	\$ 0.17	\$ 0.14	21%						
当社に帰属する利益：									
継続事業による利益	\$ 3,251	\$ 3,398	(4)%						
調整：営業外の税引後年金コスト（収入）	336	163							
営業利益（非 GAAP 財務指標）	\$ 3,587	\$ 3,561	1%						
希釈化後 1 株当たり営業利益	\$ 0.34	\$ 0.33	3%						

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業分野事業を対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GEとGECC間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は、www.ge.com/ar2011に掲載されている2011年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約（未監査）

	3月31日までの3ヶ月間		
	2012	2011	V%
(単位 100 万ドル)			
売上			
エネルギー・インフラストラクチャー	\$ 11,168	\$ 9,449	18%
アビエーション	4,891	4,368	12%
ヘルスケア	4,300	4,090	5%
トランスポーターション	1,270	903	41%
ホーム & ビジネス・ソリューションズ	2,091	1,989	5%
全産業分野事業セグメントの売上	23,720	20,799	14%
GE キャピタル	11,442	13,036	(12)%
全セグメントの売上	35,162	33,835	4%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	20	4,494	U
継続事業による連結売上	<u>\$ 35,182</u>	<u>\$ 38,329</u>	(8)%
セグメント別利益(a)			
エネルギー・インフラストラクチャー	\$ 1,524	\$ 1,381	10%
アビエーション	862	841	2%
ヘルスケア	585	531	10%
トランスポーターション	232	157	48%
ホーム & ビジネス・ソリューションズ	66	74	(11)%
全産業分野事業セグメントの利益	3,269	2,984	10%
GE キャピタル	1,792	1,790	-%
全セグメントの利益	5,061	4,774	6%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	(1,045)	2,492	U
GE 金利およびその他の金融手数料	(315)	(355)	11%
GE 法人税引当金	(450)	(3,513)	87%
継続事業による利益	3,251	3,398	(4)%
非継続事業による税引利益（損失）	<u>(217)</u>	<u>35</u>	U
連結純利益	<u>\$ 3,034</u>	<u>\$ 3,433</u>	(12)%

(a) セグメント別利益の評価対象から除外される項目は、非継続事業、連結子会社の非支配持分および会計処理変更による影響である。セグメント別利益は、セグメント別の経営評価方法に応じて、利息やその他財務費用、法人税等を算入する場合も、除外する場合もある。セグメント別利益からこれらを除外しているのは、エネルギー・インフラストラクチャー、アビエーション、ヘルスケア、トランスポーターション、ホーム&ビジネス・ソリューションズであり、これは営業利益とも言えるものである。セグメント別利益にこれを含めているのは金融事業（GE キャピタル）で、これは純利益とも言えるものである。セグメント間取引の消去および本社勘定の項目に以前計上されていたランオフ保険事業の業績は現在 GE キャピタルに計上

以下追加情報参照

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約（未監査）
追加情報

	3月31日までの3ヶ月間		
	2012	2011	V%
(単位：100 万ドル)			
エネルギー・インフラストラクチャー			
売上	\$ 11,168	\$ 9,449	18%
セグメント利益	\$ 1,524	\$ 1,381	10%
売上			
エネルギー	\$ 8,042	\$ 7,107	13%
オイル&ガス	3,416	2,558	34%
セグメント利益			
エネルギー	\$ 1,182	\$ 1,115	6%
オイル&ガス	400	306	31%
GE キャピタル			
売上	\$ 11,442	\$ 13,036	(12)%
セグメント利益	\$ 1,792	\$ 1,790	-%
売上			
Commercial Lending and Leasing (CLL)	\$ 4,442	\$ 4,608	(4)%
コンシューマー	3,877	4,823	(20)%
リアル・エステート	836	907	(8)%
エネルギー・フィナンシャル・サービス	239	345	(31)%
GE Capital Aviation Services (GECAS)	1,331	1,325	-%
セグメント利益（損失）			
CLL	\$ 685	\$ 554	24%
コンシューマー	829	1,241	(33)%
リアル・エステート	56	(358)	F
エネルギー・フィナンシャル・サービス	71	112	(37)%
GECAS	318	306	4%

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
連結貸借対照表（未監査）

(単位：10 億ドル)	連結		GE(a)		金融サービス (GECC)	
	3/31/12	12/31/11	3/31/12	12/31/11	3/31/12	12/31/11
資産						
現金および有価証券	\$ 131.5	\$ 131.9	\$ 8.0	\$ 8.4	\$ 124.0	\$ 124.1
受取手形および売掛金	19.0	19.5	11.4	11.8	-	-
棚卸資産	15.2	13.8	15.2	13.7	-	0.1
GECC の金融債権 - 純額	272.7	279.9	-	-	281.4	288.8
固定資産 - 純額	66.0	65.7	14.4	14.3	51.5	51.4
GECC に対する投資	-	-	79.2	77.1	-	-
営業権・無形固定資産	84.9	84.7	56.1	55.9	28.8	28.8
その他の資産	116.5	119.3	37.2	36.7	85.8	88.9
売却対象事業の資産	0.6	0.7	-	-	0.6	0.7
非継続事業の資産	1.3	1.7	-	0.1	1.3	1.7
純資産	<u>\$ 707.7</u>	<u>\$ 717.2</u>	<u>\$ 221.5</u>	<u>\$ 218.0</u>	<u>\$ 573.4</u>	<u>\$ 584.5</u>
負債および資本						
借入金および銀行預金	\$ 442.8	\$ 453.4	\$ 11.7	\$ 11.6	\$ 431.9	\$ 443.1
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	29.6	29.8	-	-	30.2	30.2
その他の負債	112.0	114.0	88.7	88.8	29.8	31.6
売却対象事業の負債	0.3	0.3	-	-	0.3	0.3
非継続事業の負債	1.4	1.6	0.2	0.2	1.2	1.5
株主資本	119.9	116.4	119.9	116.4	79.2	77.1
非支配持分	1.7	1.7	1.0	1.0	0.8	0.7
負債および資本合計	<u>\$ 707.7</u>	<u>\$ 717.2</u>	<u>\$ 221.5</u>	<u>\$ 218.0</u>	<u>\$ 573.4</u>	<u>\$ 584.5</u>

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野を対象。

補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には GE と GECC 間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2011 に掲載されている 2011 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
GAAP データを補足する財務諸表データ

GAAP 基準で作成されていない連結財務諸表の情報を使用する場合があります。この種のデータは、SEC 基準では「非 GAAP 財務指標」として扱われます。こうした非 GAAP 財務指標は、本リリースで発表した GAAP 指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここで取り上げるのは、営業利益、1 株当たり営業利益（EPS）、一過性要因を除く 1 株当たり営業利益、産業分野事業セグメントの内部売上成長、産業分野の営業活動によるキャッシュフロー（インダストリアル CFOA）、Garanti の影響を除いた GE キャピタルのセグメント利益および NBC ユニバーサルを除いた売上です。これらのデータは後に最も比較に適した GAAP 基準と照合されます。

営業利益、1 株当たり営業利益および一過性要因を除く 1 株当たり営業利益

(単位：100 万ドル。ただし、1 株当たり利益を除く)

	3 月 31 日までの 3 ヶ月間		
	2012	2011	V%
継続事業からの利益	\$ 3,251	\$ 3,398	(4)%
調整：営業外の税引後年金コスト（収入）	336	163	
営業利益	<u>\$ 3,587</u>	<u>\$ 3,561</u>	1%
1 株当たり営業利益 - 希釈後(a)			
継続事業からの 1 株当たり利益	\$ 0.31	\$ 0.31	-%
調整：営業外の税引後年金コスト（収入）	0.03	0.02	
1 株当たり営業利益	<u>0.34</u>	<u>0.33</u>	3%
税引後一過性要因の調整:			
NBC ユニバーサル売却益	-	(0.04)	
Garanti 売却益	-	(0.03)	
その他の収益	(0.01)	-	
リストラクチャリングおよびその他の費用	0.01	0.03	
一過性要因を除く 1 株当たり営業利益	<u>\$ 0.34</u>	<u>\$ 0.29</u>	17%

(a) 1 株当たり営業利益は項目ごと計算されています。その為、1 株当たり営業利益の数値を足し合わせると合計数値が異なる場合があります。

営業利益は、当社の主要な年金プランにおける非サービス関連の年金コスト（利息コスト、プラン資産の期待リターンおよび数理的損益の償却から成るコスト）を除外します。主要な年金プランのサービスコストおよび、以前サービスコストに含まれていた項目は営業利益に含まれます。これらの年金コスト項目は、当社従業員への年金給付における継続的サービス関連コストをより正確に反映しているため、経営陣ならびに投資家の皆様が当社の業績を判断する際に、営業利益を指標として提供することが有用であると考えます。GAAP 基準の年金コストにおけるその他項目は主に市場のパフォーマンスに依存するため、これらの項目は当社の営業活動による業績とは別に管理しています。GAAP 基準および営業年金コストのいずれも、必ずしも当社の年金プランに関する現在または将来の資金需要の参考値となるものではありません。また、営業利益から一過性要因を除外することで、一定期間ごとの業績の比較が容易になることから投資家の皆様にとって有用であると考えます。また、営業利益による財務指標を、対応する GAAP 財務指標と併せて参照することで、経営陣ならびに投資家の皆様が当社業績を他社業績と比較するのに有用な追加情報となると考えています。

産業分野事業セグメントの売上内部成長率

(単位：100 万ドル)	3 月 31 日までの 3 ヶ月間		
	2012	2011	V%
セグメント売上:			
エナジー・インフラストラクチャー	\$ 11,168	\$ 9,449	
アビエーション	4,891	4,368	
ヘルスケア	4,300	4,090	
トランスポートेशन	1,270	903	
ホーム&ビジネス・ソリューションズ	2,091	1,989	
産業分野売上	23,720	20,799	14%
以下の影響を除く：			
買収、事業売却（投資目的で取得した事業の売却を除く）および為替レート	1,210	508	
買収、事業売却（投資目的で取得した事業の売却を除く）および為替レートを除く			
産業分野事業セグメントの売上（産業分野事業セグメントの本業による内部売上）	\$ 22,510	\$ 20,291	11%

本業による内部売上成長とは、買収、事業譲渡（投資目的で取得した事業の売却を除く）および為替レートによる影響を除いた売上を測定するものです。前述の影響により、事業活動が大きな変動にさらされ、本来のトレンドが見えにくくなる可能性があるため、それらを除外したデータを提供することによって経営陣ならびに投資家の皆様が、確立され継続中の事業の業績やトレンドについて、より完全な形で理解して頂けると考えています。また、産業分野事業の本業による内部売上成長の情報を別途記載することにより、経営陣および投資家の皆様が当社の産業分野事業の事業トレンドを理解するのに有用な情報となり、他の非金融業の事業や企業とより直接的に比較することができると考えています。当社経営陣は、「内部売上成長」という用語が他の企業および異なる状況においては、解釈が異なる可能性があることを認識しています。このデータは、異なる会社間の成長率（絶対数ベース）の比較にも効果を発揮する可能性があるものの、こうした評価基準はそれぞれの事業または企業におけるトレンドを評価するのに有用だと考えており、一定期間ごとの業績トレンドの比較に役立つ可能性のあるツールであると考えています。

インダストリアル CFOA

(単位：100 万ドル)	3 月 31 日までの 3 ヶ月		
	2012	2011	V%
GE の営業活動で得たキャッシュ	\$ 2,059	\$ 1,684	22%
GECC からの配当を差し引く	-	-	
GECC からの配当を除いた GE の営業活動で得たキャッシュ （インダストリアル CFOA）	\$ 2,059	\$ 1,684	22%

インダストリアル CFOA は GE が営業活動で得たキャッシュから GECC からの配当金を差し引いたものです。これには次の社内取引による影響が含まれます。GE から GECC へ販売された GE 顧客の受取債権、売上債権管理・資材調達などの GECC のサービス、ビルや機器（自動車を含む）の GECC から GE へのリース、GE から GECC への情報技術（IT）などのサービスの販売、GECC がリース用にサードパーティのメーカーから購入した航空機に搭載されている GE が製造した航空機エンジン、その他の投資、貸付金、会社運営諸経費の配分。GECC からの配当を除いた、GE の営業活動によるキャッシュフローの比較は投資家の皆様にとって有用な分析になると考えています。GECC からの配当金を除くのは、産業事業分野で得るキャッシュフローを反映しないこと、ならびに毎期に金融サービス事業の業績が大きく変動するためです。このキャッシュフローのデータは、産業事業と金融事業の双方を営む企業との比較には適さない可能性もありますが、金融サービス事業から得ている配当の額について追加情報を得ることで、比較が可能になります。このデータは金融サービス（GECC）のキャッシュフロー報告書に記載されています。インダストリアル CFOA は、産業事業分野のキャッシュ創出能力を経営陣ならびに投資家の皆様が正確に判定し、他の非金融業の事業や企業と比較するのに有用と考えるため、GAAP 基準による CFOA 値を補足するデータを掲示しています。

Garanti の影響を除く GE キャピタルのセグメント利益

	3 月 31 日までの 3 ヶ月		
	2012	2011	V%
(単位 : 100 万ドル)			
GE キャピタル セグメント利益	\$ 1,792	\$ 1,790	-%
Garanti 売却益を差し引く	-	317	
Garanti 営業収益を差し引く	-	64	
Garanti の影響を除く GE キャピタルのセグメント利益	<u>\$ 1,792</u>	<u>\$ 1,409</u>	27%

当社は 2011 年第 1 四半期中に、Garanti の大型の株式売却益を計上しました。本来の業績トレンドが見えにくくなる可能性があるため、Garanti の影響を除く GE キャピタルのセグメント利益を開示しています。この項目を対応する GAAP ベースの GE キャピタルのセグメント利益と併せて検討することで、経営陣および投資家の皆様が一定期間ごとの業績トレンドを比較するのに有用な追加情報となると考えています。

NBC ユニバーサルを除く売上

	3 月 31 日までの 3 ヶ月間		
	2012	2011	V%
(単位 : 100 万ドル)			
報告済の売上	\$ 35,182	\$ 38,329	(8)%
NBC ユニバーサル関連の売上を差し引く	187	4,800	
NBC ユニバーサルを除く売上	<u>\$ 34,995</u>	<u>\$ 33,529</u>	4%

当社は 2011 年第 1 四半期中に、NBC ユニバーサル事業の資産を譲渡しました。また、Comcast Corporation は自社資産の一部を、当社が現在 49%を保有する新会社に移管しました。連結売上には、本譲渡以前の NBC ユニバーサル事業による売上が含まれており、譲渡に付随して 49%の資本を保有することで生じる収益に関連するものです。同事業に関する産業分野売上は変動が大きく、本来の業績トレンドが見えにくくなる可能性があるため、同事業の影響を除いた売上成長率を開示しています。この項目を対応する GAAP ベースの連結の売上と併せて検討することで、経営陣および投資家の皆様が一定期間ごとの業績トレンドを比較するのに有用な追加情報となると考えています。